

自主防災会活動報告書

報告者 中妻区長

中妻区自主防災会

氏名 細野 豊

報告日 平成30年 4月2日

実施団体名	上尾市中妻区自主防災会
実施日時	平成29年 5月28日 水曜日 10時00分 ~ 12時30分
実施場所	中妻記念会館
参加人数	自治会役員・民生委員 約30名
活動内容	『自治会役員・民生委員対象の災害図上訓練(DIG)』(3/11)DIGについて、目的と作業内容について自主防災会の相談役に説明をしていただき、(5/28)第一回目の机上訓練を行いました。自治会役員・民生委員約30名が出席しました。この様子は『中妻防災ニュース』に掲載し、会員宅に配布しました。
活動の目的	先ず、中妻地区の地理的情報や減災に力となる施設等の情報を白図に図示します。幹線・生活用道路、河川、公園、鉄道、駅、警察、消防、医者等々などです。このことを通じて、中妻地区の実態などを把握し、4月には(DIG:ウォーキングinなかづま)を実施します。最終的には、中妻地区のハザードマップを作成することです。
参加募集の方法	4月の班長会に『(DIG:ウォーキングinなかづま)』の参加者募集回覧を配布します。参加は自由です。
市ホームページへの掲載	<input checked="" type="checkbox"/> 可 ・ 否
その他	

※市のホームページ等に掲載させていただける場合は、風景の写真や資料なども添付してください。

※基本的に原文そのまま掲載しますので、御了承ください。

上尾市 総務部 危機管理防災課

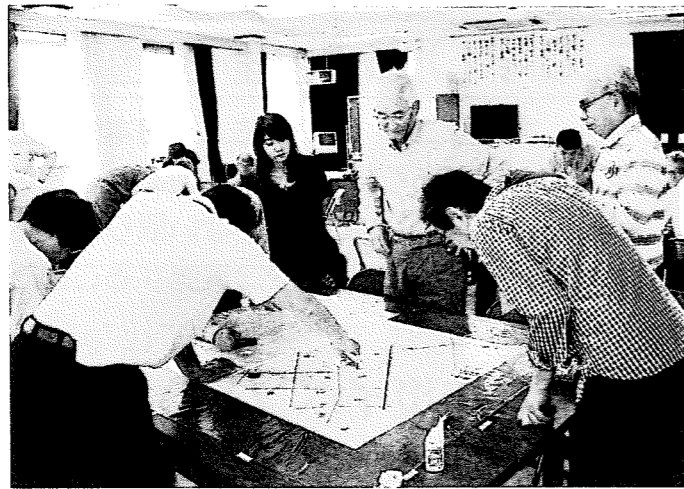
直通 : 048 - 775 - 5140

FAX : 048 - 775 - 9927

Email : s105000@city.ageo.lg.jp

<http://www.city.ageo.lg.jp/page/118116062301.html>

DIG 会場の様子です。会場の熱気、伝わりますか？



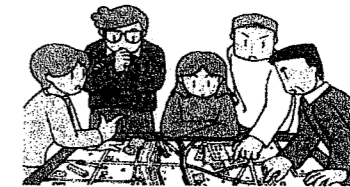
『災害図上訓練DIG』の目的

『災害図上訓練：DIG』を一言で言うと？

- ・大きな地図を参加者全員で囲み
- ・対策のイメージトレーニング(議論)をする
- ・大人から子供までみんなが一緒になって対応策を考え
- ・ゲーム感覚で気軽に行う災害対応トレーニング



※その過程で、被害の様相はより具体的なものとして描き出されて、その地域の災害に対する強さや弱さが明らかになってくる。地域防災力の可能性と限界も見えて、災害に強いコミュニティ作りの方向性も自ずと明らかになってくる。



「災害を知る」「まちを知る」「人を知る」

①災害を知る...

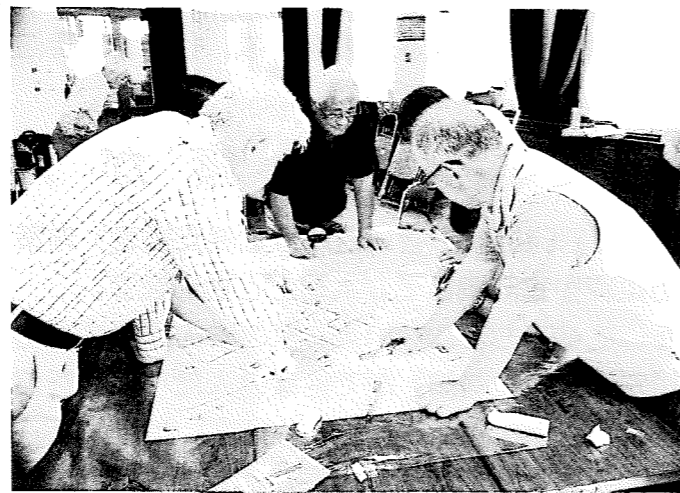
防災を考える上で必要なのが、自分の地域で起こり得る災害の様相を認識すること。「どこで、どの規模で、どんな被害の発生が予想されるのか？」地図に書き込むことで、災害をより具体的にイメージできるようになる。

②まちを知る...

地図にはさまざまな情報がある。「まちの構造はどうなっているのか」「危険な場所や注意しなければならない施設は？」地図に具体的な要素を書き込むことで、地域を見直し、自分の住む地域がどのようなところなのかを理解できるようになる。

③人を知る...

「いざという時に頼りになる人はどこにいるのか」「近所に手助けが必要な人はいないか」等の情報を書き込む、人的要素の書き込みは、まちの「財産目録」となる。



DIG (災害図上訓練) 参加者の感想は？

《第2回目役員対象 DIG: 5/28 (日) 実施》の感想と『やってみたい防災事業』について、自治会役員、民生・児童委員、自警消防団に《アンケート》を行いました。

第1問《DIGを通じて地域のことがわかりましたか？》では、DIG参加者21人中(良くわかった)8人、(わかった)10人、(ふつう)3人、(その他)1人「着手・入門編としての意義を感じた」というご意見でした。

第2問《DIGをやってみて楽しかったですか？》では、(とても楽しかった)4人、(楽しかった)10人、(ふつう)5人、(その他)1人「共同作業が楽しかった」というご意見でした。

最後の第3問《中妻区でやってみたい防災事業》(複数回答可)では、DIGに参加できなかった方にも答えていただきました。結果は以下の通りです。

非常食試食会 9人、避難所ウォークラリー 8人、防災街歩き大会 7人、身近なものでつくる防災用品アイデアコンテスト 3人、防災アンケート 2人、防災芋煮会 2人、災害時安否確認ゲーム 2人
共同作業を通じて隣人が顔見知りになり、声を掛け合うことができるようになる事、他の地域との連帯、中妻区の人達に避難所だけでも知らせ、全員がわかるようにしたい、住民データの整理、できる範囲で防災訓練をしたい各1人、など様々な提案がありました。ご協力ありがとうございました。

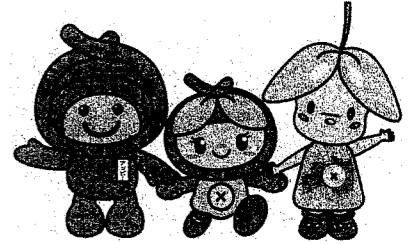
DIGの目的は、私たちが住んでいる地域を「防災」という視点から掘り下げてみる動機付けにあるのではないかと感じています。次回第3回目は10月29日(日)です。



埼玉県のマスコット
「コノハ」

中妻防災ニュース

2017年(平成29年)10月(第1号) 発行責任者: 上尾市中妻区長 金井塚 清



中妻防災ニュースの創刊にあたって

上尾市中妻区長 金井塚 清

日頃より、区の運営にご支援とご協力を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。

さて、今年度の区新規防災事業として『防災ニュース』を発行し全戸配布することにいたしました。

ご承知のように、今から6年7か月前に発生した東日本大震災以降、熊本地震をはじめ全国様々なところで地震、集中豪雨による河川の決壊、竜巻など、自然の猛威は私たちの生活に甚大な被害をもたらしました。

このようなことから、区では防災に関連した資・機材や非常食など備蓄品などの充実を図っているところですが、中妻地区に住む私たちの防災意識を高めていくことも非常に大切なことだと考えています。『AEDの使い方と心肺蘇生のやり方講習会』や『防災施設見学会』、『防災講演会』などと共に『中妻防災ニュース』もその一助になれば幸いです。また、みなさまからのご意見をお寄せください。お待ちしております。

結びにあたりまして、『中妻防災ニュース』の創刊に際しご協力を賜りました関係各位に、心から感謝を申し上げご挨拶といたします。

安心安全に欠かせないもの? DIG 開催を通じて

中妻区自主防災会アドバイザー 大澤サユリ (NPO 法人・日本防災士会参与)

自主防災に限らず、安全・安心な街づくりに欠かせないものがあります。それは、地域住民の防災・減災マインドです。一部の人が無事に努力しても、大半の住民が積極的に協力しない限り自主防災は成功しません。まずは、楽しく、意識を一つにして、具体的な防災活動の一つずつ実施することだと思えます。

《みんなが楽しんで参加できる身近な防災イベントってなに?》

みんなが親しみやすく楽しんで参加できる身近な防災イベントって?

例えば、「防災運動会」・「防災かるた大会」・「防災芋煮会」・「防災キャンプ」・「非常食試食会」・「避難所ウォークラリー」などがあります。

また、新しいアイデアや防災知識・情報を収集・伝達し、その知識を地域に合わせて具体的に活動に活かせるよう、「防災アンケート調査」・「防災講演会」・「防災ワークショップ」・「防災街歩き大会」・「身近なものでつくる防災用品アイデアコンテスト」・「DIG: 災害図上訓練」・「災害時安否確認ゲーム」などもいいかと思えます。

こうしたイベントを通じて、地域にお住いの警察・消防・自衛隊・役所・医師・看護師など様々な知識、経験、技術を持った人々と交流ができれば、地域防災力にとって大きな力となってくれます。防災イベントをこれらの人材の発掘に活かしていきたいですね。

《中妻区でDIG: Disaster-Imagination-Gameの略を開催しています!》

今年の3月のDIG説明会から年4回に分けて、自治会役員、民生・児童委員・自警消防団のみなさんを対象にDIG(災害図上訓練)を開催しています。通常のDIG講習ですと、1日6~7時間ほどかけて行いますが、今回は楽しく少しずつ習得していただくよう、4回に分けて講習を行います。今後は10月と来年の3月までに講座を行います。裏面には、今年の5月に実施した「実質的な第1回目のDIG講習」の様子を掲載しました。ご覧ください。




《防災支援者対策が大切です!》

災害が発生した時、災害時要援護者(避難行動要支援者)対策が重要だと言われますが、私は要支援者を出さないための防災支援者対策こそが大切だと思います。

家屋の耐震補強をしたくてもできない人、家の中の家具や電化製品の固定をしたくても体力や知識、資金などの関係で防災対策(減災対策)ができない人たちに手を貸し、災害に備える手伝いをしてくれる人たちを『防災支援者』(地区自治会の自主防災組織)と呼んでいます。地域で見守る体制作り、地区の自治会組織が「共助」の一環として対策を図ることが重要です。

防災対策(減災対策)は全て「事前の対策」ですが、災害が起きてから行動するのと事前に対策をとっておくのとでは被害の差は言うまでもありません。

自主防災組織の役割

<p>防災知識の普及</p>	<p>防災新聞等の発行、防災カルテ・防災地図の作製、防災講習会・映画上映会の開催、地域のお祭りや運動会等での防災イベントの実施、防災キャンプの実施など</p> 
<p>防災巡視・防災点検</p>	<p>各家庭の防災用品の点検、燃えやすい物の放置状況、ブロック塀や石垣、看板、自動販売機等、倒れやすいものの点検など</p> 
<p>防災資機材の整備</p>	<p>ヘルメット、消火器、担架、ハンマー、バール、大型ジャッキなどの作業道具、非常食、救急医薬品等の防災資機材や備蓄品の管理</p> 
<p>防災訓練の実施</p>	<p>初期消火訓練、避難誘導訓練、救出・救護訓練、給食・給水訓練、情報収集・伝達訓練など</p> 